

証券コード：9412

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス



2022年3月期 第3四半期

決算説明会

2022年2月2日

将来の見通しに関する記述



本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 放送事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

2022年3月期 第3四半期連結業績概要

連結業績概況



- 営業収益は、収益認識会計基準等の適用とスカパー！累計加入者減により減収となるも、通期業績予想に対して概ね計画通り進捗
- 営業利益は前年同期と同水準、純利益は約12%の増益

(百万円)

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減率	2021年度 通期業績予想	通期予想 進捗率
営業収益*	104,342	88,436	△15.2%	122,000	72.5%
営業利益	16,577	16,256	△1.9%	18,000	90.3%
経常利益	17,351	17,401	+0.3%	18,800	92.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,290	12,653	+12.1%	13,000	97.3%
EBITDA**	35,936	35,572	△1.0%	43,000	82.7%

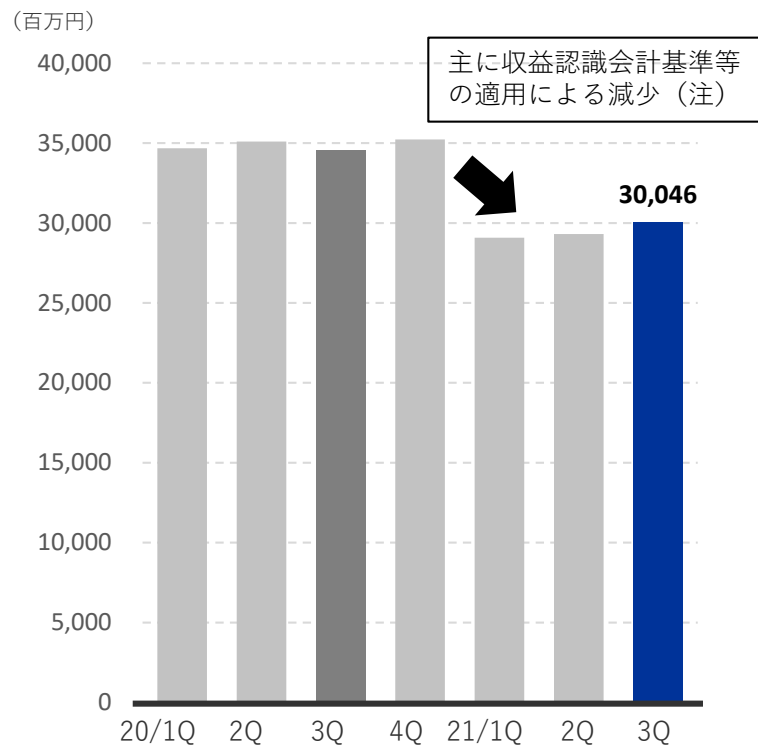
* 2021年度第1四半期会計期間から収益認識に関する会計基準等を適用し、営業収益に対する累計影響額は△156億円（3Q累計）。利益に対する影響は軽微。

** EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息。

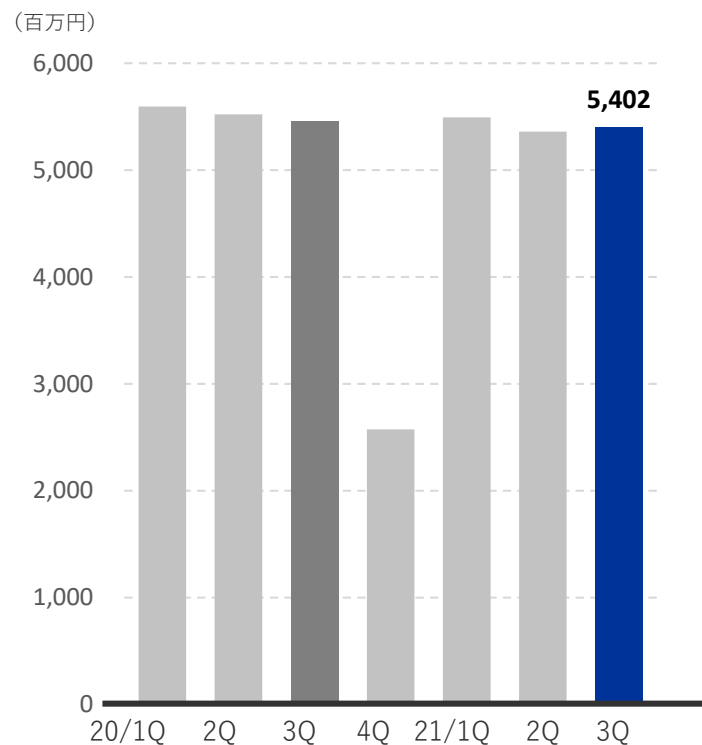
四半期別の連結業績推移（FY2020/1Q – FY2021/3Q）



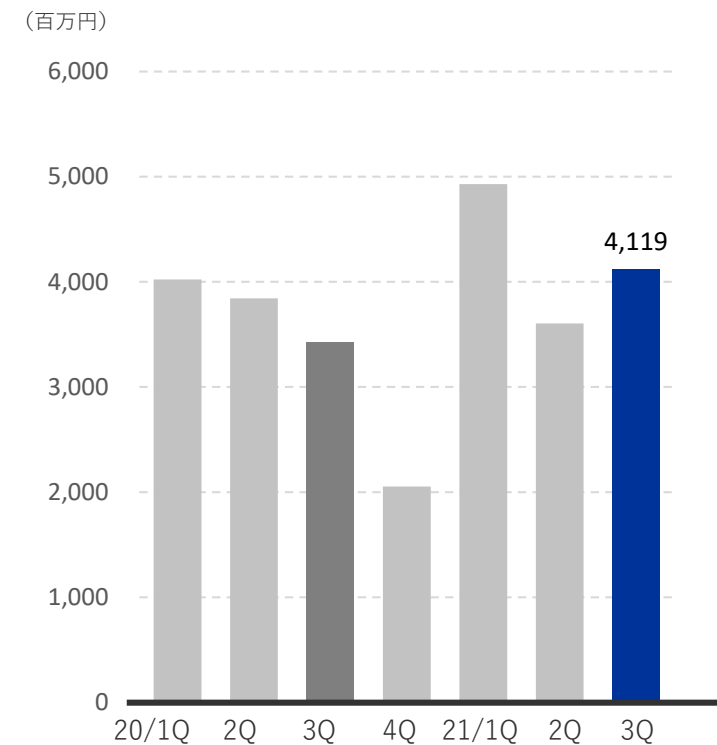
営業収益



営業利益



四半期純利益



注：2021年度1四半期連結会計期間から収益認識会計基準等を適用しており、当年度以降は当該基準等を適用した数値。

セグメント別業績概況（3Q累計）：宇宙事業



- 営業収益は430億円。収益認識会計基準等の適用の影響を除くと、約18億円の増収
- 営業利益・セグメント利益とも、前年同期と比べ増益基調を継続

営業収益

(百万円)

43,248

42,995

20年度
3Q累計

21年度
3Q累計

営業利益

(百万円)

10,041

10,989

20年度
3Q累計

21年度
3Q累計

セグメント利益*

(百万円)

6,614

8,605

20年度
3Q累計

21年度
3Q累計

3Q累計の主な増減要因（前年同期比）

- 営業収益 430 億円 (△3億円) **
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△21億円
 - ・ グローバル・モバイル分野：+6億円
 - ・ 新領域・機器販売等：+12億円
- 営業費用 320 億円 (△12億円) **
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△21億円
 - ・ 減価償却費：△8億円
 - ・ その他営業費用等：+17億円
- 営業利益 110 億円 (+9億円)
- セグメント利益 86 億円 (+20億円)
 - ・ 連結子会社の解散に伴う税金費用減：+9億円

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

[] は、収益認識会計基準等の適用による影響額。

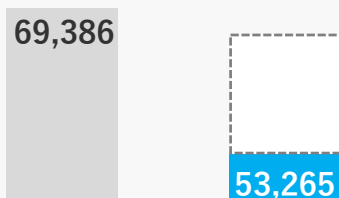
セグメント別業績概況（3Q累計）：メディア事業



- 収益認識会計基準等の適用の影響を除き、累計加入者の減少等で約26億円の減収
- 視聴料収入等の減少により、営業利益・セグメント利益とも減益

営業収益

(百万円)



2020年度
3Q累計

2021年度
3Q累計

営業利益

(百万円)

7,047

5,813

2020年度
3Q累計

2021年度
3Q累計

セグメント利益*

(百万円)

5,089

4,402

2020年度
3Q累計

2021年度
3Q累計

3Q累計の主な増減要因（前年同期比）

- 営業収益 533 億円 (△161億円) **
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△135億円
 - ・ 視聴料収入の減少：△21億円 ***
- 営業費用 475 億円 (△149億円) **
 - ・ 収益認識会計基準等の適用の影響：△133億円
 - ・ 番組供給料の減少：△13億円 ***
- 営業利益 58 億円 (△12億円)
- セグメント利益 44 億円 (△7億円)

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

*** 収益認識会計基準等の適用の影響を除く

[] は、収益認識会計基準等の適用による影響額。



中期的な基礎収益力のさらなる強化を目指す

基礎収益力強化の具体策

2022年度～

当期純利益（億円）

133

2020年度

- 宇宙：新規衛星による増収増益開始
- メディア：コスト構造見直しによる利益水準確保

130

2021年度（計画）

- 宇宙：新規衛星の増収継続、新領域事業拡大
- メディア：配信事業等の積極展開（今期一部先行費用等発生）

- 航空機Wi-Fi等の**移動体通信**、**グローバル市場**の旺盛な回線需要に積極対応
- **ビジネスインテリジェンス**分野での収益拡大
- パートナリーシップによる**新領域**への進出
- 「宇宙基本計画」に沿った宇宙事業の拡大

- FTTHや5G/Beyond 5G等の多様な伝送手段を活用した収益機会の拡大と利益拡大
- **BtoB・配信事業**の積極的推進（**収益多角化**）

事業の概況

— 持続的成長に向けた取り組み —

A small satellite with two long solar panel arms is visible in the upper left against the black background of space.

SPACE

宇宙事業



■ Intelsat社へのJCSAT-1C衛星の提供

- 航空機内インターネットサービス向けにHTSである**JCSAT-1C**の提供が決定
- 将来さらなる需要の拡大が見込まれる日本及びアジア上空において、高速かつ快適な航空機内インターネット接続環境を提供

■ 「きずな」へのJSATMarine導入

海洋ブロードバンドサービス

JSATMarine
ジェイサットマリン

- 1月サービス開始の新海洋サービス「**JSATMarine**」について、エヌ・ティ・ティ・ワールドエンジニアリングマリン(株)が運航する海底ケーブル敷設船「きずな」への導入が決定
- **下り最大 30Mbps上り最大3Mbps**のプランを提供。
高速インターネット接続環境による船舶のDX促進や乗組員の福利厚生に活用



「きずな」外観（エヌ・ティ・ティ・ワールドエンジニアリングマリン社提供）

グローバルビジネスの更なる強化策

衛星通信

RE BUILDING
SPACE



- アジア事業強化を目的にシンガポール支店を新設（2022年1月1日）
- あわせてアジア 3 拠点を統括するアジア事業部も設置

アジア需要の
確実な取込

情報収集発信 &
新規商材の戦略立案

グローバル
人材育成強化

香港支店

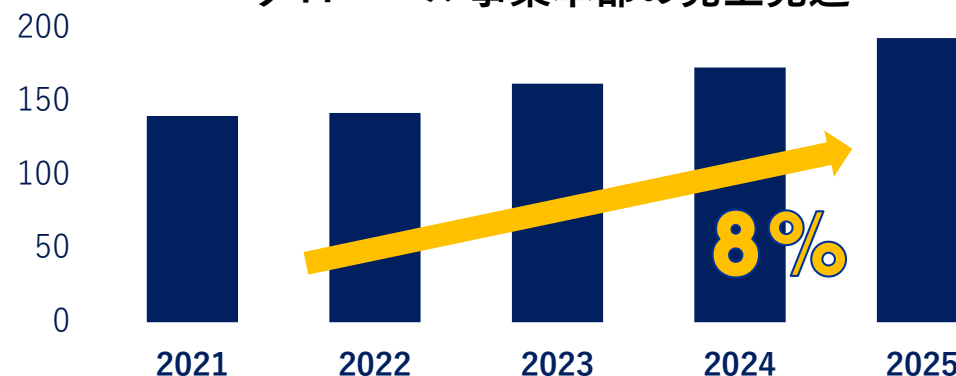
シンガポール支店

ジャカルタ駐在事務所

海外拠点の拡充を図り、2022年度から2025年度にかけて
グローバル事業本部の営業収益成長率（CAGR）8%を目指す

（億円）

グローバル事業本部の売上見込

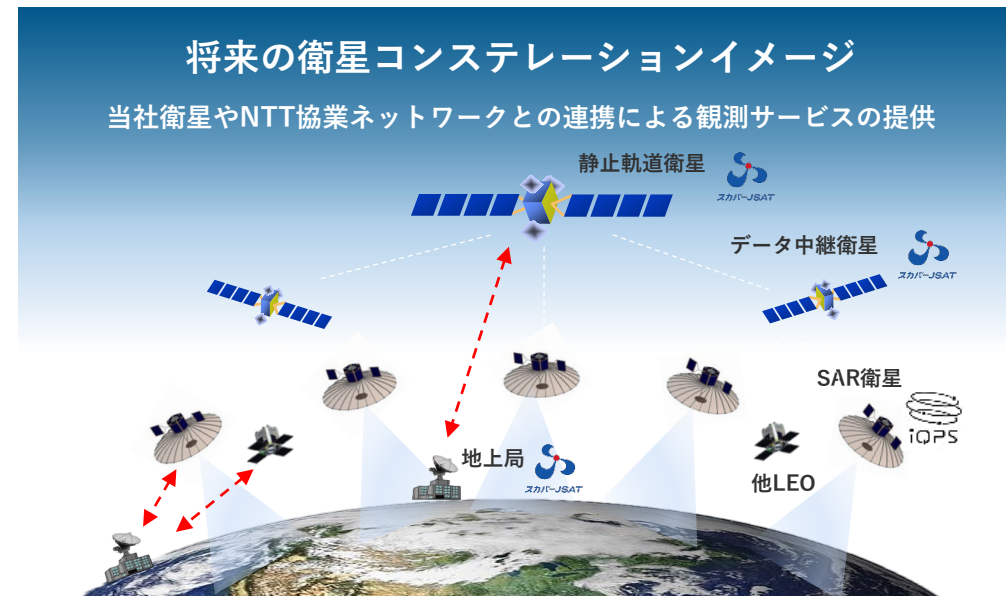


- QPS 研究所のシリーズBラウンドにおいて、リード投資家として資本参加
- 同社が構築を進めている小型SAR 衛星コンステレーションと当社のアセットやノウハウを連携させた新たなサービスの創出を目指し業務提携契約を締結
- 2030年迄に279.5億米ドルと予想される衛星データサービス市場を開拓。

本分野において、2025年度までに営業収益 3 倍増を目指す

スペースインテリジェンス事業のバリューチェーン図

本出資で、宇宙データバリューチェーンにおいて極めて重要な上流域を強化。



スカパー!

MEDIA
メディア事業



動画配信サービス「SPOOX」での新たな取り組み



■ 新配信商品の販売を開始

映画、ドラマ、アニメなど約30,000本が見放題！

商品名：バリュープラン Powered by ひかりTV

発売日：2022年2月2日（水）

販売価格：990円（税込）／月



■ リリースと同時にキャンペーンを展開

90日間 無料キャンペーン実施中

初回購入されたお客様に限り、購入日を含め90日間
「バリュープラン Powered by ひかりTV」を無料にてご視聴いただけます。
※通常料金は月額990円です。キャンペーン期間満了後、自動的に課金となります。

期間：2022年2月2日（水）～2022年7月31日（日）

さらに [スカパー！契約者限定]
SPOOX バリュープラン割

スカパー！放送サービスの対象商品契約者はSPOOXサービスの
月額商品「バリュープラン Powered by ひかりTV」がお得に。
通常月額990円→月額690円に割引して提供いたします。

※2022年5月開始予定

スカパー！基本プラン/プラットフォーム施策

放送

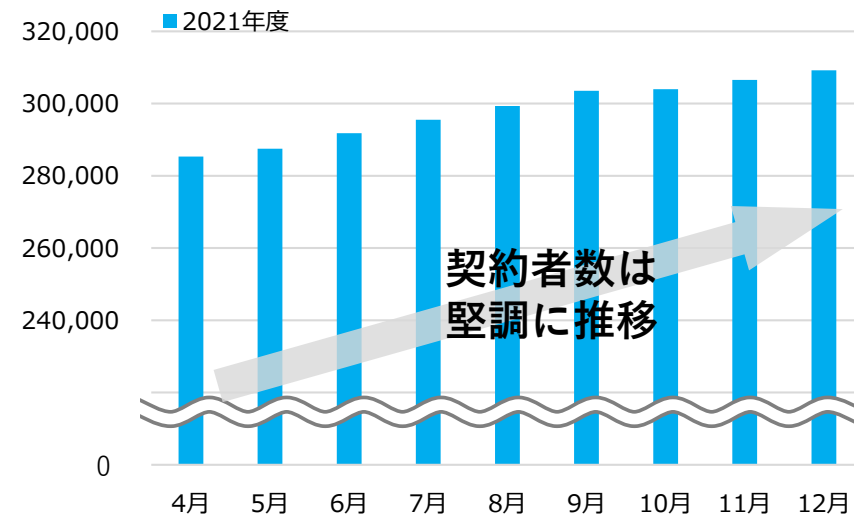
RE BUILDING

MEDIA



■ スカパー！基本プラン契約者数は堅調に推移

- 2021年9月に契約者数が30万件突破し、第3四半期に入っても、プラットフォーム施策の展開等により契約者数は堅調に推移



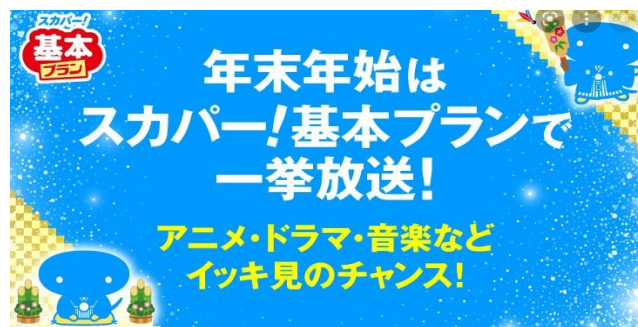
■ プラットフォーム施策

11月【なつエモ天国TV】



昭和・平成レトロなど世の中の話題性と合致した企画で、SNSを中心にスカパー！の話題量も増加

12～1月【年末年始一挙放送】



イッキ見／録画でコレクション等
年末年始ならではの過ごし方を提案

2月【基本プラン3日間無料】



2/11～13の3日間、基本プランの無料視聴機会を提供する事により
商品認知を拡大/加入を促進

【2022年プロ野球放送予定】



プロ野球 セ・パ 12球団
オープン戦 全試合生中継・公式戦も徹底中継
野球関連番組も盛りたくさん！
プロ野球セットアプリは機能充実、スマホでも楽しめる

< 施策事例 >

バーチャルホークスキャンプ2022（イベント実施日：計8日、PC・スマホから誰でも参加可）

仮想空間上に「生目の杜運動公園」を作り出し、宮崎キャンプに訪問できないホークスファンに、バーチャルでスタジアム内を自由に移動しながら練習観戦・トークイベント等々を楽しんでいただく。

バーチャル空間イメージ



メインルート



スタジアム



ブルペン



Space for your Smile ～空から笑顔を届けるプロジェクト～

RE BUILDING
MEDIA



■ANAの「空」とエンターテイメントを結ぶ

- ・ANAとのコラボレーションでスペシャルイベントを実施（予定）
- ・コロナ禍で様々なメモリアルイベントが体験できなかった学生に特別な体験をプレゼント
- ・中高生100名を招待し、特別なフライト、機内イベントを実施（予定）
- ・「本企画が繋ぐ人々の笑顔」をドキュメンタリーとして記録し、「スカパー！/SPOOXで放送・配信」



Space for your Smile

空から笑顔を届けるプロジェクト



×



イベントの様子を放送・配信

「宇宙事業」と「メディア事業」を両軸とする当社のハイブリッドな強みを生かし、グループミッションである“Space for your Smile”を具現化した新たな取り組み

脱炭素社会の実現に向けて

■ 宇宙事業拠点において再生可能エネルギーを導入

- 24時間365日稼働する管制センターでの導入により、グループ使用電力量前年度実績比約30%^{*1}の再エネ化と2022年度はCO2排出量3,000トン以上^{*2}の削減を見込む。
- スカパー東京メディアセンターも含め、グループ全体で順次切り換えを進める。

*1：再生可能エネルギー使用比率は、2020年度の当社グループ使用電力量実績ベースに算出

*2：各拠点における直近12ヵ月（2021年1月～2021年12月）のCO₂排出量（t-CO₂/年）の実績値



主局：横浜衛星管制センター（神奈川県横浜市）

2030年にありたい姿

脱炭素社会と循環型経済の実現に向けた環境への寄与



- グループの再生可能エネルギー使用比率100%を目指す
- 衛星通信・データの提供を通じ、再生可能エネルギー発電・供給への寄与を拡大する



副局：茨城ネットワーク管制センター（茨城県常陸大宮市）



■ 東証新市場区分

- 2022年4月4日より『**プライム市場**』に移行

■ 株主還元状況

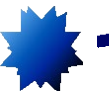
- **配当**：2021年度も **1株当たり18円の年間配当**を実施予定（予想配当利回り* 4.18%）
 - 中間配当（基準日2021年9月30日）1株当たり9円実施済
 - 期末配当（基準日2022年3月31日）1株当たり9円実施（予定）

* 1株当たり予想年間配当金を2022年1月31日付株価終値431円で算定

- **自己株式の取得**：2021年8月5日から2022年1月31日の期間に**自己株式取得を実施**
 - 取得した株式数 7,101,400株（2022年1月27日取得完了）
 - 株式取得に要した総額 2,999,984,200円（2022年1月27日取得完了）

安定した財務基盤を背景に基礎収益力強化に向けた成長投資と株主還元を両立

参考資料

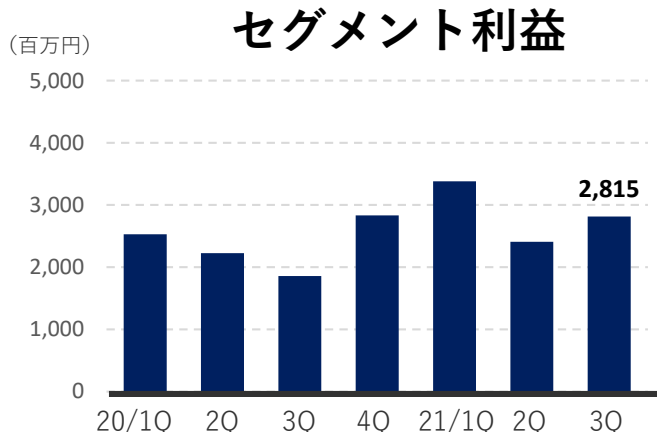
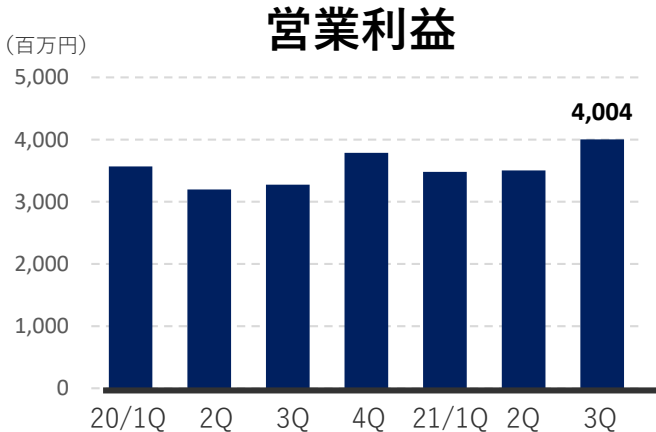
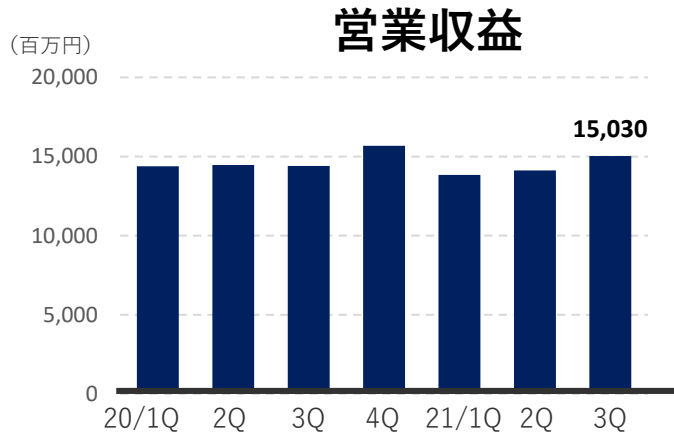


セグメント別四半期業績(2020/1Q - 2021/3Q)

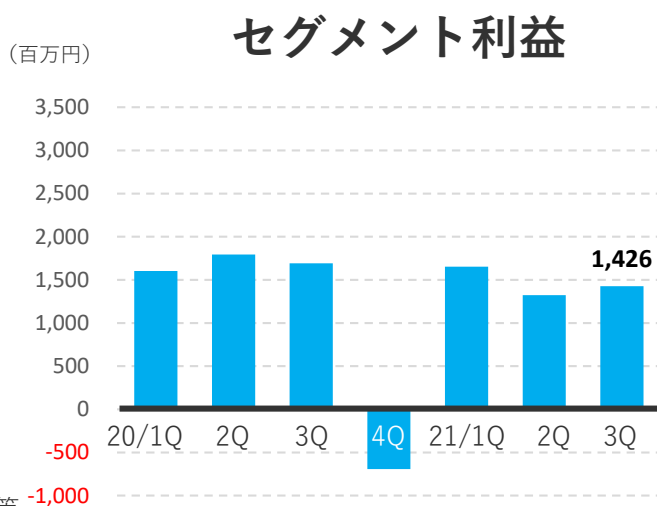
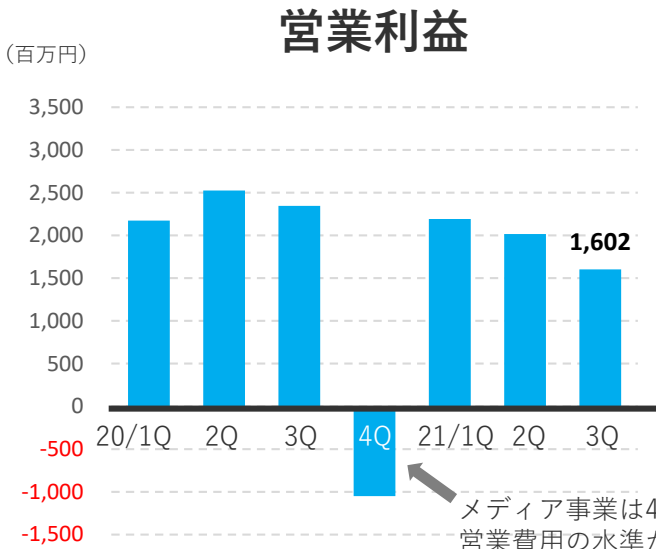
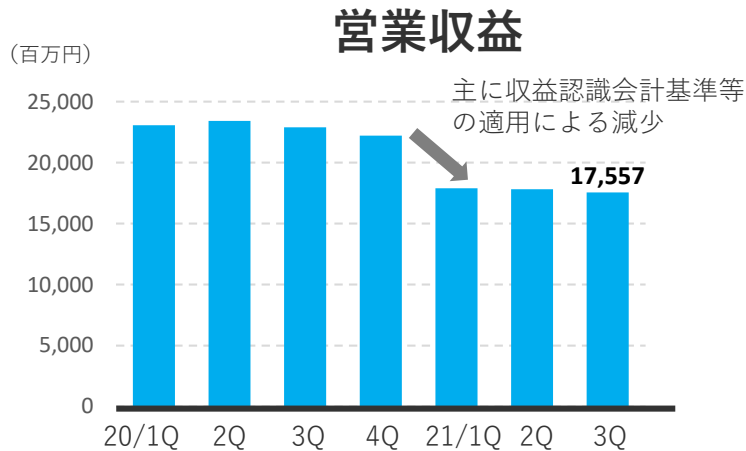


* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

宇宙事業



メディア事業



注：2021年第1四半期連結会計期間から収益認識会計基準等を適用しており、当年度以降は当該基準等を適用した数値。

セグメント別四半期業績(2020/1Q - 2021/3Q)



対前年同四半期比較

(百万円)

	2020年度					2021年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q
営業収益	34,674	35,099	34,568	35,230	139,572	29,078	29,311	30,046
メディア事業	23,066	23,422	22,896	22,213	91,599	17,896	17,811	17,557
宇宙事業	14,381	14,465	14,400	15,681	58,929	13,843	14,121	15,030
消去又は全社	△2,773	△2,789	△2,728	△2,664	△10,956	△2,661	△2,621	△2,542
営業利益	5,594	5,521	5,461	2,574	19,151	5,493	5,360	5,402
メディア事業	2,174	2,525	2,347	△1,051	5,995	2,193	2,016	1,602
宇宙事業	3,568	3,197	3,275	3,788	13,829	3,480	3,503	4,004
消去又は全社	△148	△201	△161	△162	△673	△181	△160	△204
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益)	4,022	3,843	3,424	2,054	13,345	4,929	3,604	4,119
メディア事業	1,603	1,794	1,691	△692	4,396	1,652	1,323	1,426
宇宙事業	2,529	2,226	1,857	2,833	9,448	3,380	2,409	2,815
消去又は全社	△111	△178	△124	△86	△500	△103	△128	△121

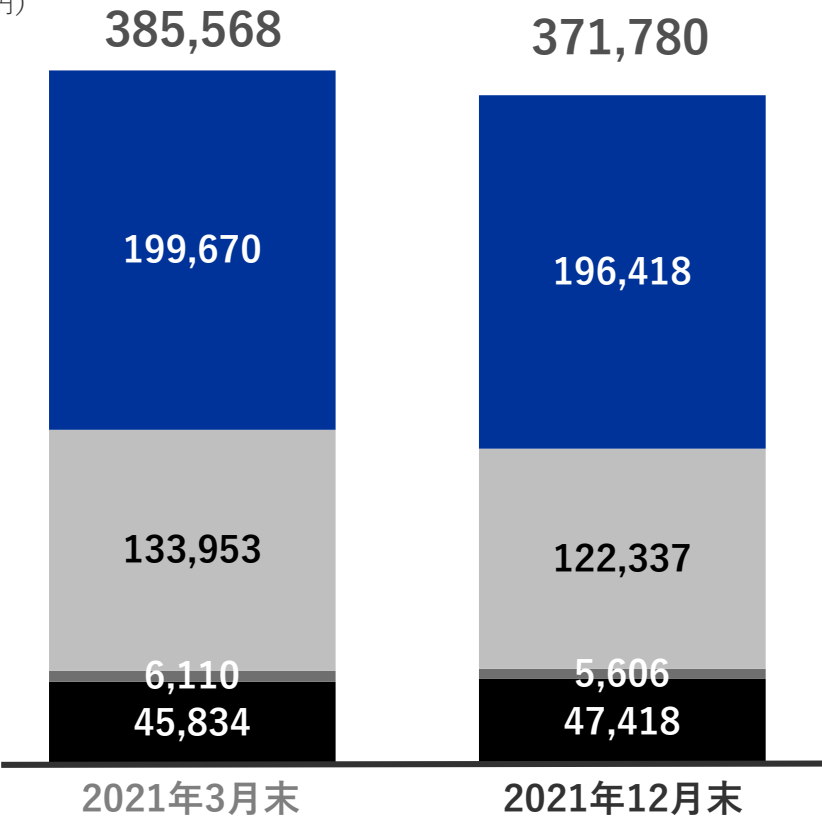
※「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、
2021年度第1四半期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

連結貸借対照表

■ 自己資本比率 65%と安定した財務状態を堅持。発行体格付けはシングルAフラットを維持。

資 産

(百万円)

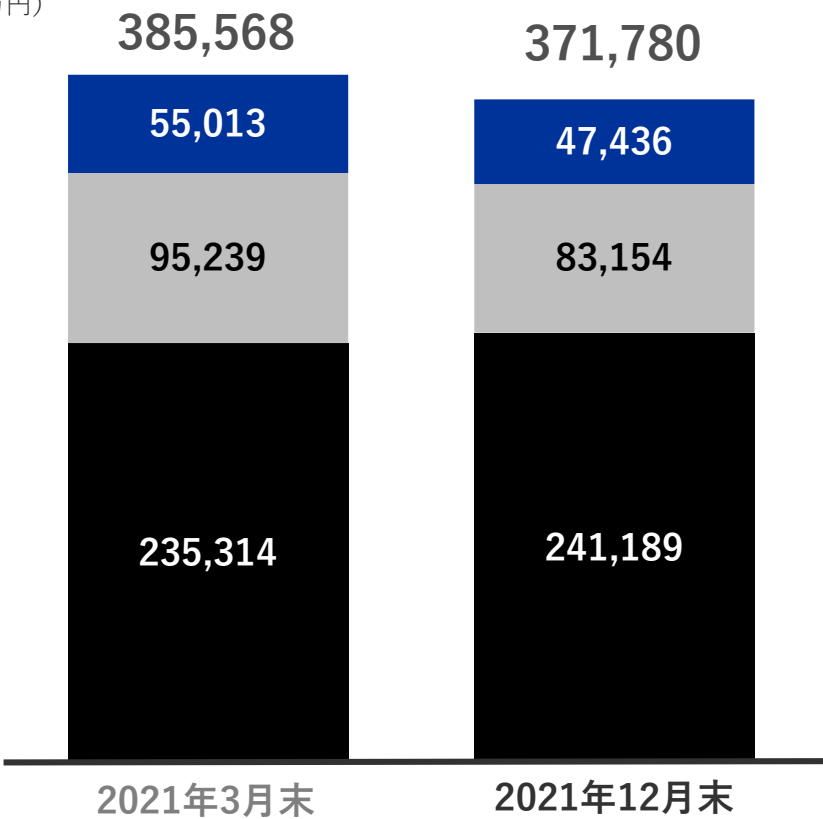


流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産

負債・純資産

自己資本比率： 60.8% ➡ 64.6%

(百万円)



流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー



(百万円)

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,106	26,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,612	△7,659
フリー・キャッシュフロー (*1)	39,494	19,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,530	△15,523
現金及び現金同等物の期末残高(a)	66,501	77,158
有利子負債期末残高 (*2) (b)	90,295	84,631
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	23,794	7,473

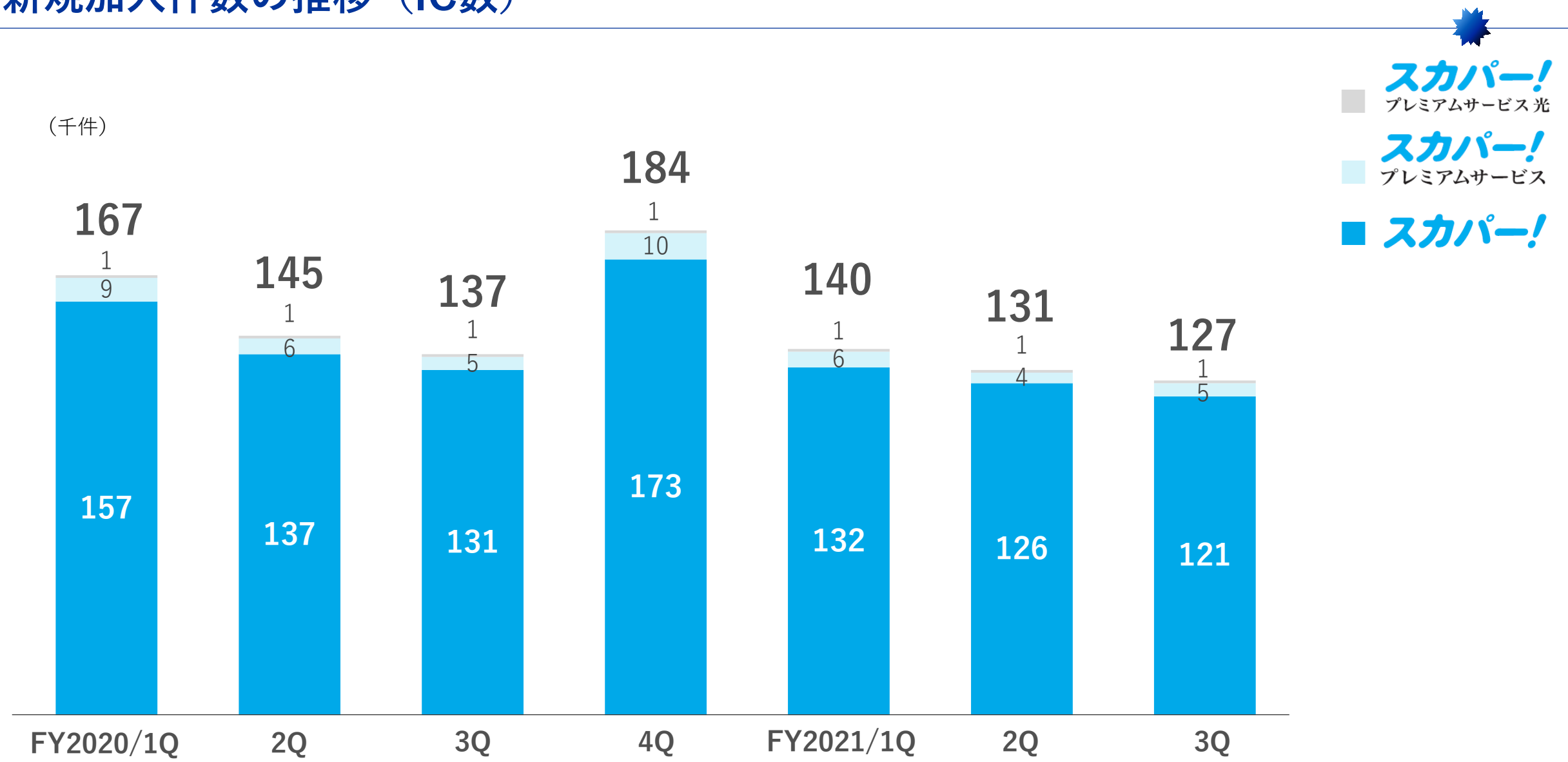
*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債



	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	2021年度 加入目標
新規（IC数：万件）	44.9	39.8	56.4
純増数（IC数：万件）	△8.2	△ 10.9	△8.7
（スカパー！）	(△1.0)	(△ 4.3)	(0.8)
（スカパー！プレミアムサービス）	(△6.9)	(△ 6.3)	(△9.0)
（スカパー！プレミアムサービス光）	(△0.3)	(△ 0.3)	(△0.5)
累計加入件数（IC数：万件）	308.8	299.3	301.5
累計契約者数（契約者数：万件）	251.2	238.5	238.3
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,298	3,336	—
スカパー！プレミアムサービス	3,613	3,579	
スカパー！プレミアムサービス光	5,193	5,124	

新規加入件数の推移（IC数）



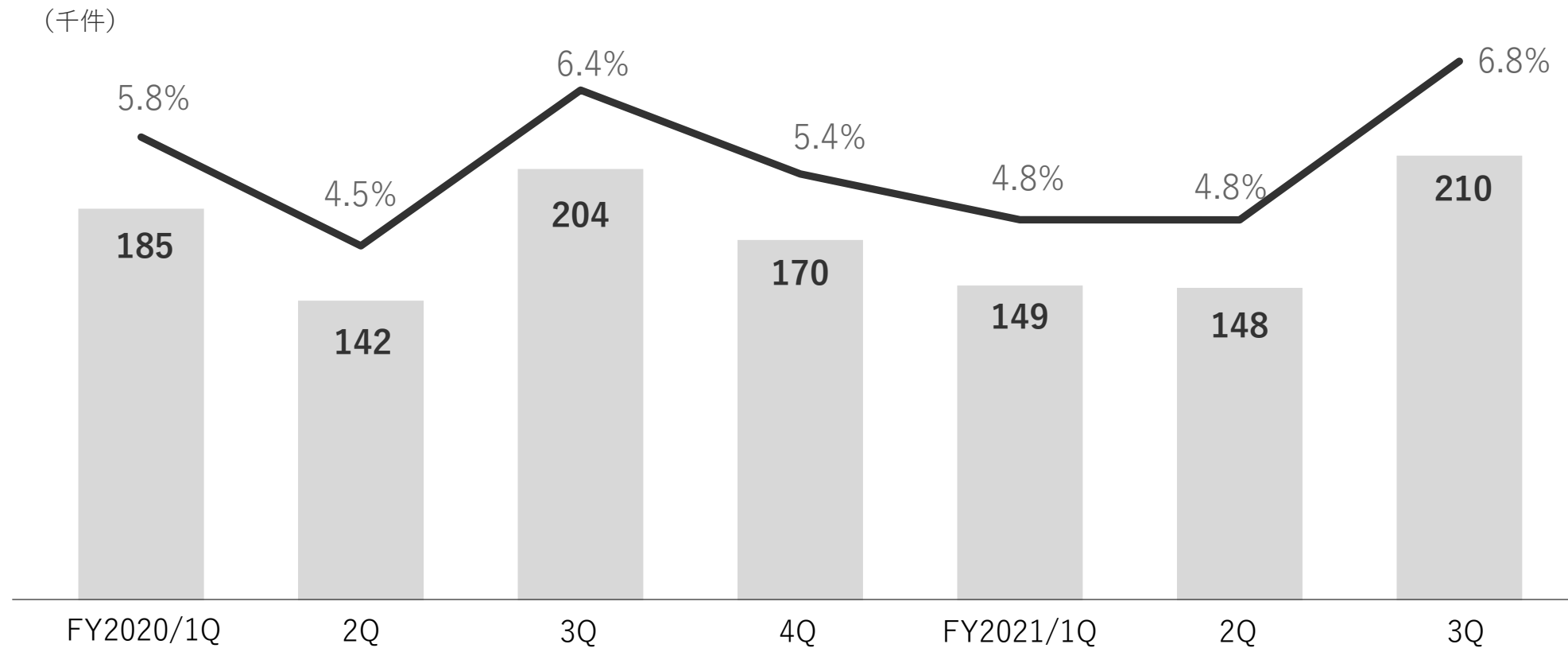
解約率の推移（IC数）



— 解約率 *（四半期毎）

■ 解約件数（千件）

注：すべてスカパー！合計

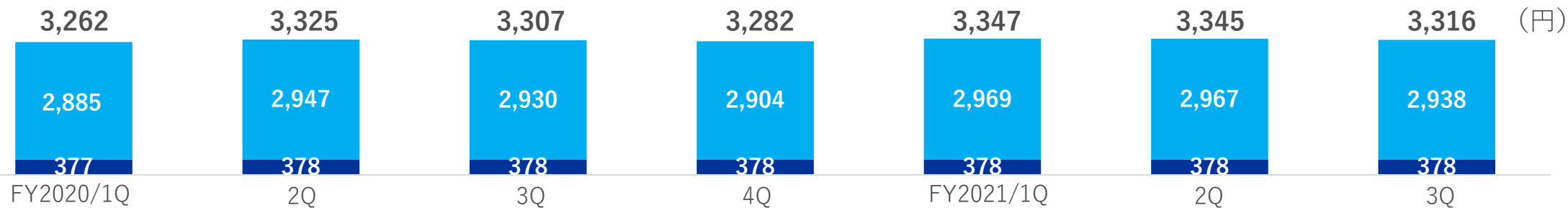


* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

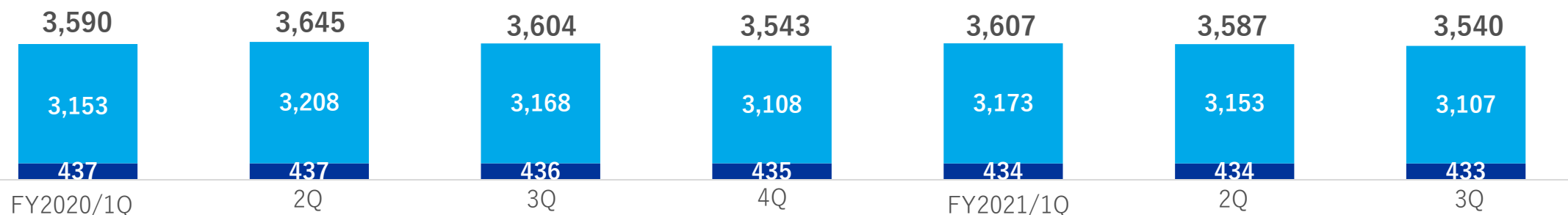
契約者支払単価^{*1}



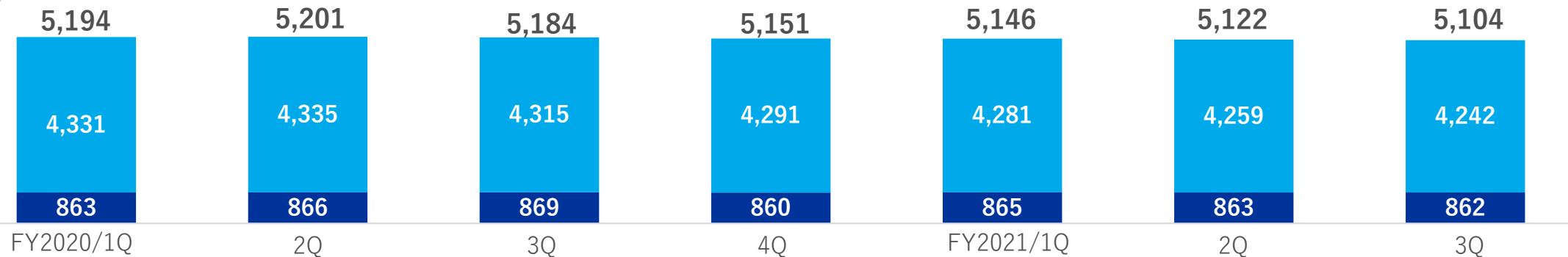
スカパー!



スカパー!
プレミアムサービス



スカパー!
プレミアムサービス光



■ 基本料その他^{*2}

■ 視聴料

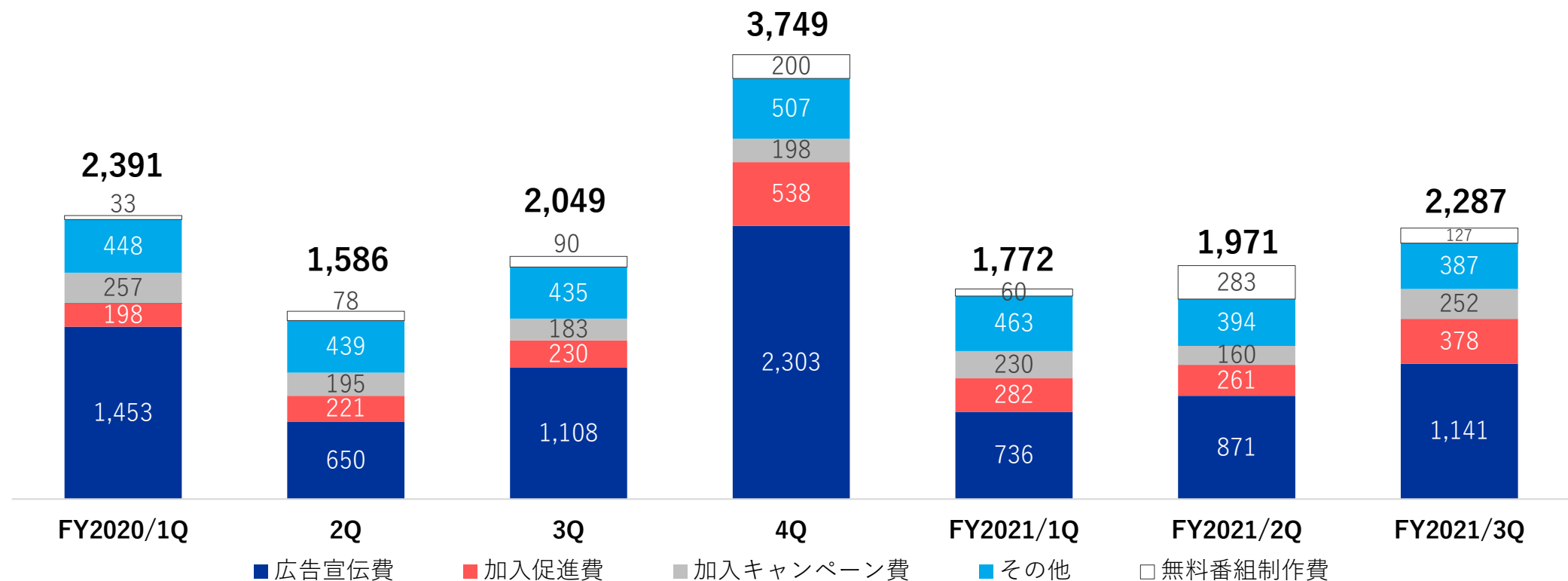
^{*1} 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー!では約30%を業務手数料、スカパー!プレミアムサービス、およびスカパー!プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

^{*2} 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

顧客獲得費用総額（SAC）

(百万円)



■ 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用

■ 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ※

■ 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)

■ その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等

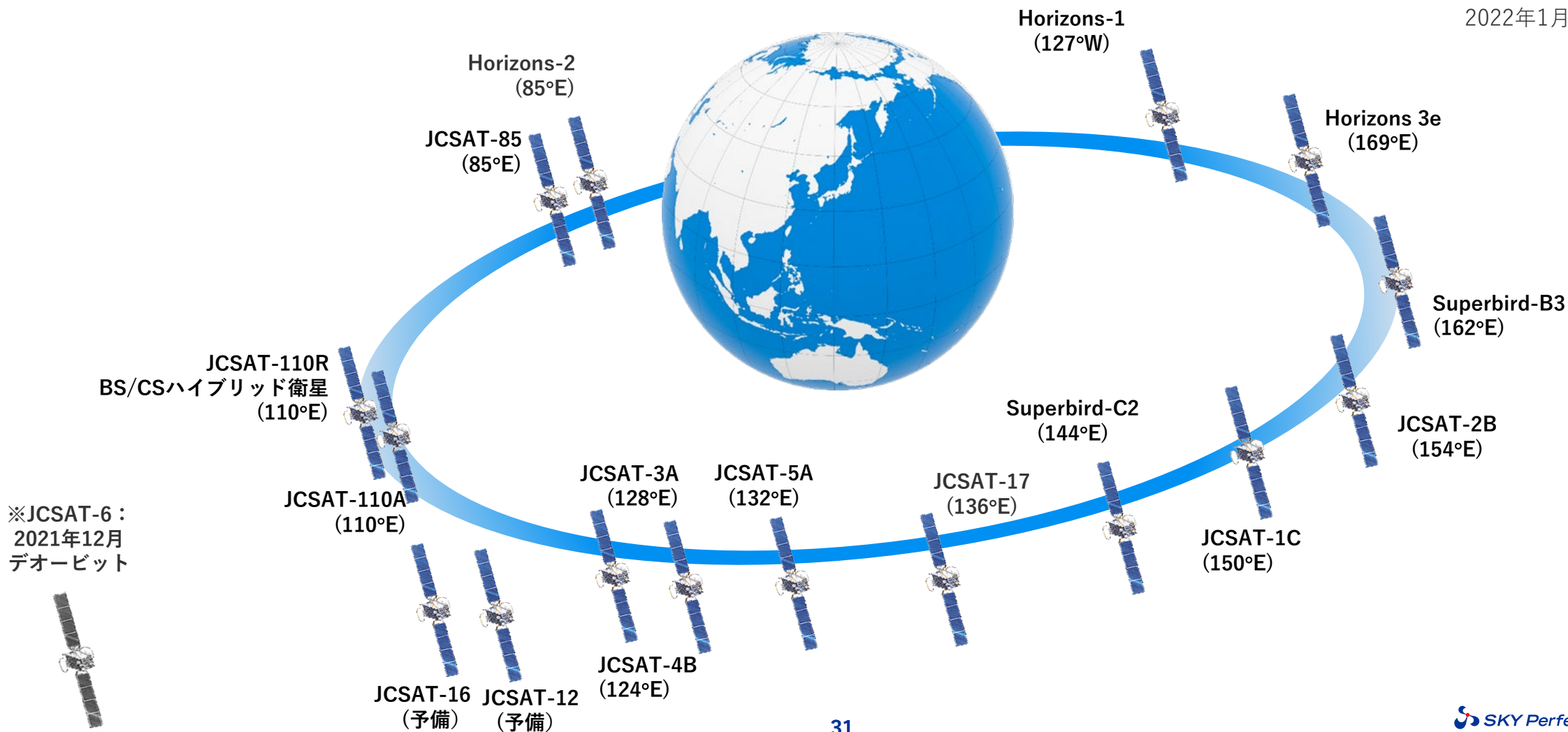
□ 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

※2021年度1Qより、従来「販売インセンティブ」として記載していた項目を「加入促進費」に合算して算出しています。2020年度の「加入促進費」も同様に再集計しています。



北米上空からインド洋上空まで 計16機 の衛星を保有

2022年1月末現在



Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

